

I 展示活動

1 企画展

近代日本画にみる麗しき女性たち ～松園と美人画の世界～

- 会期 平成20年4月19日(土)～5月25日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 296×226mm 152頁
発行：神戸新聞社
- 入場者数 19,084人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 87点

●内容解説

古来、女性はしばしば、芸術家を創造へとかき立てる靈感の泉となり、多くの画家たちが女性を描くことに精魂を傾けてきた。

明治以降は、上村松園、鏑木清方、伊東深水といった美人画を得意とした画家をはじめ、多くの画家たちがそれぞれの時代の、もしくは画家自身の理想的な女性美を追求している。一方、より現実的な女性像を求めて、目に見える美しさよりも内面世界や個性を描き出そうと努めた画家もおり、近代における女性表現は多彩な広がりを見せている。

本展では、上村松園はじめ女性を描くことに心血を注いだ画家の作品87点を一堂に展示し、近代の日本画家たちがどのようなまなざしを女性に向けてきたかを紹介した。

●担当 澤渡麻理(学芸員)

●関連イベント

ギャラリートーク

担当 澤渡麻理(学芸員)

日時 4月26日(土) 午後1時30分～

5月10日(土) 午後1時30分～

会場 展示室A・B・C

●関連記事

- ・松園と美人画の世界
平成20年3月11日(水)【新美術新聞】
- ・茨城県天心記念五浦美術館「近代日本画にみる麗しき女性たち～松園と美人画の世界～」
平成20年4月3日(木)【まい いばらき】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち～松園と美人画の世界～
平成20年4月9日(水)【埼玉新聞】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち～松園と美人画の世界～
平成20年4月15日(火)【産経新聞】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち～松園と美人画の世界～
平成20年4月16日(水)【週刊茨城朝日】
- ・心血注いだ87作品 近代日本画にみる麗しき女性たち～松園と美人画の世界
平成20年4月16日(水)【毎日新聞】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち～松園と美人画の世界～
平成20年4月16日(水)【朝日新聞】
- ・「松園と美人画の世界」展
平成20年4月17日(木)【よみうりタウンニュース】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち 松園と美人画の世界
平成20年4月18日(金)【茨城新聞】
- ・巨匠たちの美人画の世界 茨城県天心記念五浦美術館
平成20年4月22日(火)【両毛新聞】



図録



ポスター B2



チラシ A4

- ・茨城県天心記念五浦美術館 松園と美人画の世界
平成20年4月24日(木)【福島民報 情報ナビ タイム】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち -松園と美人画の世界-
平成20年4月25日(金)【日本経済新聞】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち~松園と美人画の世界~
平成20年4月25日(金)【読売新聞】
- ・県天心記念五浦美術館 近代日本画にみる麗しき女性たち あでやかな女性美の世界
平成20年4月27日(日)【常陽新聞】
- ・近代美人画87点紹介(三次豪)
平成20年4月28日(月)【茨城新聞】
- ・県天心記念五浦美術館で企画展 明治から源田愛の女性像紹介(飯田勉)
平成20年5月4日(日)【常陽新聞】
- ・上村松園 紅葉可里図 好きな深雪像の一つの変奏か(澤渡麻里)
平成20年5月8日(木)【朝日新聞】
- ・池田輝方「幕間」 今昔「ハレの場」を対比(澤渡麻里)
平成20年5月9日(金)【茨城新聞】
- ・上村松園「花」 のぞく柔和、優美な表現(澤渡麻里)
平成20年5月10日(土)【茨城新聞】
- ・北野恒富「鏡の前」 着物の柄が醸す官能性(澤渡麻里)
平成20年5月11日(日)【茨城新聞】
- ・県天心五浦美術館の日本画、女性美人画展にぎわう
平成20年5月12日(月)【ひたちタイムス】
- ・中村貞以「待つ宵」 卓球に興じる舞妓2人(澤渡麻里)
平成20年5月12日(月)【茨城新聞】
- ・守屋多々志「ウィーンに六段の調」 ” 着眼の妙” が光る一作(澤渡麻里)
平成20年5月13日(火)【茨城新聞】
- ・近代の「美女」勢ぞろい 五浦美術館
平成20年5月14日(水)【産経新聞】
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち~松園と美人画の世界~(澤渡麻里)
平成20年4月号『美術の窓』
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち展
平成20年5月号『博物館研究』
- ・近代日本画にみる麗しき女性たち展
平成20年6月号『目の眼』

●関連放送

- ・「ゴジテレシャトル」
平成20年4月24日(木)【福島中央テレビ】
- ・NHK 地域デジタル放送「県政お知らせスタジオ」
平成20年5月1日(木)【NHKデジタル】
- ・「スクーパーレポート」
平成20年5月2日(金)【いばらき放送】
- ・「いわきおもしろミュージアム」
平成20年5月9日(金)【FMいわき】

● 出品作品一覧

NO	コーナー	作家名	生没年	作品名	制作年(和暦)	材質	形状	所蔵家名
1	II	上村 松園	1875-1949	四季美人図	明治25年	絹本着色	軸装	光記念館
2	II	上村 松園	1875-1949	化粧	明治33年頃	絹本着色	軸装	
3	II	上村 松園	1875-1949	よそほい	明治35年頃	絹本着色	軸装	福富太郎コレクション
4	II	上村 松園	1875-1949	志々ぼん玉	明治36年頃	絹本着色	軸装	
5	II	上村 松園	1875-1949	花のにぎわい	明治40年	絹本着色	軸装	京都国立近代美術館
6	II	上村 松園	1875-1949	三美人之図	明治41年	絹本着色	軸装	光記念館
7	II	上村 松園	1875-1949	花	明治43年	絹本着色	軸装	姫路市立美術館
8	II	上村 松園	1875-1949	春日長	大正初期	絹本着色	軸装 (双幅)	京都市美術館
9	II	上村 松園	1875-1949	紫式部図	大正初期	絹本着色	軸装	石山寺
10	II	上村 松園	1875-1949	古代美人図	大正2年頃	絹本着色	軸装	京都産業大学
11	II	上村 松園	1875-1949	ふり袖	大正3年	絹本着色	軸装	
12	II	上村 松園	1875-1949	紅葉可里図	大正3年頃	絹本着色	額装	
13	II	上村 松園	1875-1949	お萬之図	大正4年	絹本着色	軸装	
14	II	上村 松園	1875-1949	汐汲み之圖	昭和初期	絹本着色	軸装	水野美術館
15	II	上村 松園	1875-1949	京美人之図	昭和7-10年頃	絹本着色	額装	株式会社ヤマタネ
16	II	上村 松園	1875-1949	汐くみの図	昭和8年頃	絹本着色	額装	セキ美術館

17	II	上村 松園	1875-1949	桜狩の図	昭和10年	絹本着色	軸装	培広庵コレクション
18	II	上村 松園	1875-1949	櫻がり図	昭和10年頃	絹本着色	額装	株式会社ヤマタネ
19	II	上村 松園	1875-1949	志ぐれ	昭和11年	絹本着色	軸装	水野美術館
20	II	上村 松園	1875-1949	美人観書	昭和13年	絹本着色	軸装	富士美術館
21	II	上村 松園	1875-1949	男舞之図	昭和13年頃	絹本着色	軸装	
22	II	上村 松園	1875-1949	かんざし	昭和13年頃	絹本着色	額装	水野美術館
23	II	上村 松園	1875-1949	若葉の頃	昭和14年	絹本着色	額装	光記念館
24	II	上村 松園	1875-1949	菊寿	昭和14年	絹本着色	軸装	富士美術館
25	II	上村 松園	1875-1949	晴れ間	昭和14年頃	絹本着色	軸装	
26	II	上村 松園	1875-1949	夕べ	昭和15年頃	絹本着色	軸装	株式会社ヤマタネ
27	II	上村 松園	1875-1949	詠哥之図	昭和16年頃	絹本着色	額装	
28	II	上村 松園	1875-1949	螢	昭和18年	絹本着色	軸装	西宮市大谷記念美術館
29	III	伊藤 小坡	1877-1968	つづきもの	大正5年	絹本着色	額装	福富太郎コレクション
30	I	鐺木 清方	1878-1972	花いばら	大正末期	絹本着色	軸装	
31	I	鐺木 清方	1878-1972	二人美人図	昭和初期	絹本着色	軸装	光記念館
32	I	鐺木 清方	1878-1972	明治風俗 すゞみ舟	昭和15年頃	絹本着色	軸装	
33	III	菊池 契月	1879-1955	朱唇	昭和6年	絹本着色	額装	京都国立近代美術館
34	III	菊池 契月	1879-1955	早苗	昭和9年	紙本着色	軸装	京都市美術館
35	III	菊池 契月	1879-1955	羽子	昭和10年	絹本着色	軸装	培広庵コレクション
36	III	菊池 契月	1879-1955	朝爽	昭和12年	絹本着色	軸装	京都国立近代美術館
37	III	北野 恒富	1880-1947	鏡の前	大正4年	絹本着色	額装	滋賀県立近代美術館
38	III	北野 恒富	1880-1947	ゆふべ	大正12年	絹本着色	額装	福富太郎コレクション
39	I	池田 輝方	1883-1921	お夏狂乱	大正3年	絹本着色	屏風 二曲一隻	福富太郎コレクション
40	I	池田 輝方	1883-1921	幕間	大正4頃年	絹本着色	屏風 二曲一双	福富太郎コレクション
41	III	竹久 夢二	1884-1934	舞姫	大正中期	絹本着色	軸装	夢二郷土美術館
42	III	竹久 夢二	1884-1934	桜下五美人	大正10年頃	絹本着色	軸装	夢二郷土美術館
43	III	竹久 夢二	1884-1934	星まつ里	昭和初期	絹本着色	軸装	夢二郷土美術館
44	I	池田 蕉園	1886-1917	宴の暇	明治42年	絹本着色	軸装	福富太郎コレクション
45	III	土田 麦僊	1887-1936	愒	明治40年頃	絹本着色	軸装	京都市美術館
46	III	土田 麦僊	1887-1936	舞妓	大正5年頃	絹本着色	額装	培広庵コレクション
47	III	三木 翠山	1887-1957	美人図	昭和初期	絹本着色	軸装	京都国立近代美術館
48	III	島 成園	1892-1970	影絵	大正初期	絹本着色	軸装	堺市
49	III	島 成園	1892-1970	秋乃夜	大正初期	絹本着色	軸装	堺市
50	III	島 成園	1892-1970	おんな	大正6年	絹本着色	額装	福富太郎コレクション
51	III	寺島 紫明	1892-1975	爪	昭和5年	絹本着色	額装	大関株式会社
52	IV	寺島 紫明	1892-1975	姉妹	昭和33年	絹本着色	額装	大関株式会社
53	IV	寺島 紫明	1892-1975	舞妓	昭和39年	紙本着色	額装	大関株式会社
54	III	谷角 日沙春	1893-1971	寵人	昭和4年	絹本着色	額装	京都国立近代美術館
55	III	岡本 神草	1894-1933	口紅	大正7年	絹本着色	屏風 二曲一隻	京都市立芸術大学芸術資 料館
56	III	甲斐庄 楠音	1894-1978	秋心	大正6年	絹本着色	額装	京都国立近代美術館
57	III	甲斐庄 楠音	1894-1978	舞ふ	大正13年	絹本着色	額装	京都国立近代美術館
58	III	木谷 千種	1895-1947	をんごく	大正7年	絹本着色	屏風 六曲一隻	大阪市立近代美術館建設 準備室
59	III	木谷 千種	1895-1947	涼宵	昭和10年代	絹本着色	軸装	培広庵コレクション
60	IV	小倉 遊亀	1895-2000	少女	昭和38年	紙本着色	額装	滋賀県立近代美術館

61	III	梶原 緋佐子	1896-1988	桜下美人	大正後期	絹本着色	軸装	培広庵コレクション
62	IV	梶原 緋佐子	1896-1988	鏡	昭和23年	絹本着色	額装	京都市美術館
63	IV	梶原 緋佐子	1896-1988	花	昭和26年	絹本着色	額装	東京国立近代美術館
64	I	山川 秀峰	1898-1944	春雨の宵 時雨降る日	大正8年	絹本着色	軸装 (双幅)	福富太郎コレクション
65	III	中村 大三郎	1898-1947	黒衣女人像	昭和8年	絹本着色	額装	
66	III	中村 大三郎	1898-1947	女人像	昭和9年	絹本着色	額装	京都市美術館
67	IV	伊東 深水	1898-1972	長夜	昭和23年頃	絹本着色	額装	大垣市教育委員会
68	IV	伊東 深水	1898-1972	晴日	昭和35年頃	絹本着色	軸装	光記念館
69	IV	伊東 深水	1898-1972	菊を活ける勅使河原 霞女史	昭和41年	紙本着色	額装	財団法人草月会
70	III	中村 貞以	1900-1982	待つ宵	昭和8年	絹本着色	額装 (二面)	佐久市立近代美術館
71	IV	中村 貞以	1900-1982	惜春	昭和20年代	絹本着色	軸装	培広庵コレクション
72	IV	中村 貞以	1900-1982	髪	昭和25年	紙本着色	額装	
73	IV	中村 貞以	1900-1982	単衣の人	昭和30年代	絹本着色	額装	培広庵コレクション
74	IV	中村 貞以	1900-1982	爽涼	昭和31年	絹本着色	額装	東京国立近代美術館
75	IV	中村 貞以	1900-1982	シャム猫と青衣の女	昭和40年	紙本着色	額装	日本藝術院
76	III	広田 多津	1904-1990	萩	昭和10年代	絹本着色	軸装	培広庵コレクション
77	III	広田 多津	1904-1990	おしろい	昭和12年	紙本着色	屏風 二曲一隻	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
78	IV	広田 多津	1904-1990	舞妓	昭和48年	紙本着色	額装	愛知県美術館
79	IV	橋本 明治	1904-1991	春座敷	昭和55年	紙本着色	額装	水野美術館
80	IV	三谷 十糸子	1904-1992	少女と森	昭和36年	紙本着色	額装	佐久市立近代美術館
81	IV	三谷 十糸子	1904-1992	野	昭和51年	紙本着色	額装	京都国立近代美術館
82	IV	北沢 映月	1907-1990	三人のモデル	昭和40年	紙本着色	額装	東京都現代美術館
83	IV	北沢 映月	1907-1990	ある日の安英さん	昭和42年	紙本着色	額装	京都市美術館
84	IV	守屋 多々志	1912-2003	ウィーンに六段の調 (ブラームスと戸田 伯爵極子夫人)	平成4年	紙本着色	屏風 四曲一隻	大垣市守屋多々志美術館
85	IV	森田 曠平	1916-1994	大原女三題 里だより	昭和47年	紙本着色	額装	
86 -1	IV	森田 曠平	1916-1994	女神春秋-花鎮め	昭和57年	紙本着色	屏風 四曲一隻	
86 -2	IV	森田 曠平	1916-1994	女神春秋-龍田姫	昭和58年	紙本着色	屏風 四曲一隻	
87	IV	石本 正	1920-	のれん	昭和45年	紙本着色	額装	

ごんぎつねと黒井健の世界

●会期 平成20年7月19日（土）～8月31日（日）

●主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
後援：茨城県PTA連絡協議会
茨城県国公立幼稚園PTA連絡協議会
茨城県学校長会
茨城県幼稚園連合会
茨城県保育協議会
茨城県地域女性団体連絡会
茨城県読書をすすめる協議会
茨城県図書館協会
協力：渋谷出版企画
◎第23回国民文化祭・いばらき2008協賛事業

●ポスター B2

●チラシ A4

●図録 210×297mm 40頁

編集：茨城県天心記念五浦美術館

発行：茨城県天心記念五浦美術館

●入場者数 26,806人

●観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円

※（ ）内は20名以上の団体料金

●出品点数 150点

●内容解説

絵本画家、イラストレーターとして知られる黒井健は、昭和22年（1947年）新潟市に生まれた。新潟大学教育学部美術科を卒業したのち、幼児絵本の編集者を経て、昭和48年よりフリーのイラストレーターとして絵本や童話の挿絵等を描くようになる。昭和61年刊行

の『ごんぎつね』では、日本画的な色彩による幻想的な味わいの挿絵が高い評価を受け、小学校の国語教科書にも採用された。その後も色鉛筆とパステルを基調とした柔らかなタッチで、切ない物語の場面、湿潤な空気感のある光景や雲の風景をはじめとした多彩な世界を描き出し、これまで出版した200冊を超える絵本や画集は、大人から子どもまで多くの人々に親しまれている。

本展では、代表作『ごんぎつね』、『手ぶくろを買いに』（共に新美南吉作）をはじめとする絵本原画約150点を中心に、スケッチ、彫刻などもあわせ、4つの章と3つのエピソードで展示構成し、黒井健の絵画世界を多角的に紹介した。

●担当 三代博紀（主任学芸主事）

●関連イベント

黒井健講演会「絵本とわたし」

講師 黒井健（絵本作家）

日時 8月9日（土） 午後1時30分～

会場 講堂

黒井健サイン会

日時 8月10日（日） 午前11時～、午後1時30分～

会場 展望ギャラリー

ギャラリートーク

担当 三代博紀（主任学芸主事）

日時 7月26日（土） 午後1時30分～

8月23日（土） 午後1時30分～

8月30日（土） 午後1時30分～

会場 展示室A・B・C

●共催事業（第23回国民文化祭茨城県実行委員会）

ワークショップ「びっくりしかけ絵本をつくろう」

講師 嵐田康平（しかけえほん専門店「メッゲンドルファー」店主）

日時 8月17日（日）

1回目 午前9時45分～午後12時15分

2回目 午後1時30分～午後4時

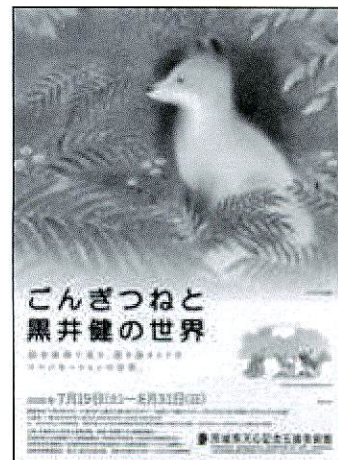
会場 講座室



図録



ポスター B2



チラシ A4

絵本おはなし会

日時 7月27日(日) 午前11時～、午後2時～
 8月3日(日) 午前11時～、午後1時～
 8月10日(日) 午前11時30分～、午後2時～
 8月17日(日) 午前11時～、午後2時～

会場 美術情報ライブラリー

協力 おはなし会ぽっぽ、常陸太田図書館友の会、読みきかせグループ「たんぼぼ」、高萩よみきかせグループ

体験コーナー「ぬりぬりぬり絵。ぱたぱた絵本。」

日時 会期中 午前10時～午後4時

会場 講座室

黒井健絵本コーナー

日時 会期中 午前9時30分～午後5時

会場 美術情報ライブラリー

●関連記事

- ・心温まる原画約150点 ごんぎつねと黒井健の世界 北茨城・県天心記念五浦美術館 19日から 平成20年7月9日(水)【毎日新聞】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界 平成20年7月10日(木)【福島民報 情報ナビ タイム】
- ・美術館を楽しもう 北茨城・天心記念五浦美術館 平成20年7月11日(金)【よみうりたうんネット】
- ・県天心記念五浦美術館 こくぶん祭 美術展(日本画)協賛 「ごんぎつねと黒井健の世界」 平成20年7月16日(水)【週刊茨城朝日】

- ・ごんぎつねと黒井健の世界 茨城県天心記念五浦美術館 平成20年7月18日(金)【両毛新聞】
- ・「ごんぎつね」など 絵本原画を展示 北茨城・黒井健の世界 平成20年7月23日(水)【下野新聞】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界 平成20年7月23日(水)【朝日新聞】
- ・天心記念五浦美術館(20人招待) ごんぎつねと黒井健の世界 平成20年7月24日(木)【よみうりタウンニュース】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界 平成20年7月25日(金)【日本経済新聞】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界展開催 平成20年8月7日(木)【まい いばらき】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界(上) ごんぎつね 心に語りかける余韻 (三代博紀) 平成20年8月9日(土)【茨城新聞】
- ・絵本読み聞かせ 天心記念五浦美術館 平成20年8月10日(日)【茨城新聞】
- ・大人にも読める絵本目指す 宮沢賢治へのラブレター 「ごんぎつね」の黒井健さん講演 平成20年8月14日(木)【常陽新聞】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界(中) 雲の信号 賢治へのオマージュ (小泉淳一) 平成20年8月16日(土)【茨城新聞】
- ・ごんぎつねと黒井健の世界(下) ころわんはおいちやん純真で自由な心の象徴 (三代博紀) 平成20年8月23日(土)【茨城新聞】

●関連放送

- ・「スクーパーレポート」 平成20年7月31日(木)【茨城放送】

● 出品作品一覧

第1章 愛とファンタジーの世界

タイトル	シーン	横×縦(mm)
『おかあさんの目』 1988年 あまんきみこ作 あかね書房	三つか四つぐらいの	430×360
	けれど、そのとちゅうで	430×360
	「せつこが、いるよ。」	430×360
	おかあさんは、くすぐたく	430×360
	「たたみが、見える。」	430×360
	「みどりのカーテンだ。」	430×360
	「窓。窓が光ってる。」	610×460
	「窓の外の、ポプラ。」	610×460
	よくよく見ると、	430×360
	いわれたとおりに、	430×360
	ふりむくと、	430×360
	海！ 海！	610×460
	わたしは、いそいで	430×360
	「はじめ、おかあさんは、	430×360
	わたしには、そのとき、	610×460

『天の町やなぎ通り』 2007年 あまんきみこ作 あかね書房	てんのまちやなぎどおり 「おや。」 ドアは、ぱたんと 「いや、それが、」 そのとき、局長さんは、はっと むこうに橋が見えてきました。	
『リリアン』 2006年 山田太一作 小学館	表紙 見返し 女の子が、すーっと宙に 「行く？」女の子が、 「ユウちゃんて、いい子？」	410×520 410×520 670×520 670×520 670×520
『月夜のバス』 2002年 杉みき子作 偕成社	表紙 だけど……。 少年はいそいであとずさり、 バスのなかではてんじょうまで、 とおく灯台のあかりが明滅し、	
『雲へ』 2002年 黒井健作 偕成社	おひさまがやまのむこうに てのひらを ひらひらさせたら (浮かび上がる男の子) (川が下に見える) くもはうんととおかった (くもにかすむ男の子) やまのむこうに かくれた	
第2章 語り継がれる物語 —ごんぎつねと童話の世界		
『ごんぎつね』 1986年 新美南吉作 偕成社	表紙 これは、私が小さいときに、 ある秋のことでした。 ふと見ると、川の中に人がいて 兵十がいなくなると 一ばんしまいには 十日ほどたって お午がすぎると、 その晩、ごんは、 兵十が、赤い井戸のところで、 ごんは物置のそばをはなれて つぎの日には、ごんは山で つぎの日もそのつぎの日も 月のいい晩でした。 加助がひよいと、 ごんは、おねんぶつが そのあくる日もごんは そして足音をしのばせて	400×510 400×510
『手ぶくろを買いに』 1988年 新美南吉作 偕成社	表紙 寒い冬が北方から 母さん狐は洞穴の入口 子供の狐は遊びに行き 間もなく洞穴に 暗い暗い夜が	400×510 400×510 670×510 670×510 400×510 670×510

	やがて、行く手に	400×510
	坊やおててを	400×510
	子供の狐は、町の灯を	670×510
	やがて町に入りましたが	670×510
	とうとう帽子屋が	400×510
	「このおててにちょうどいい	400×510
	「お母さんは、人間	400×510
	するとこんどは、	400×510
	それをきくと	670×510
	二匹の狐は森のほうへ	670×510
『かさじぞう』	あるとしのくれ、	670×520
2006年 松谷みよ子文 童心社	きがつくと、	670×520
『猫の事務所』	表紙	400×450
1994年 宮沢賢治作 偕成社	ところで猫に、地理だの歴史だの	400×450
	こんな工合で、猫にはまあ	400×450
	「君、だめだよ。とどかないよ。」	400×450
	ところが丁度このときに	400×450
	かま猫はあたりまえの猫になろうと	400×450
	さて次の日です。	550×450
	獅子は不審そうに	400×450
第3章 私のイーハトヴ —宮沢賢治の詩の風景		
『イーハトヴ詩画集 雲の信号』	表紙	870×680
1995年 宮沢賢治詩 偕成社	丘の眩惑	870×680
	雲の信号	810×670
	青い槍の葉	870×680
	一本木野	870×680
	南のはてが	810×670
	夜の湿気と風がさびしくいりまじり	870×680
	冬	870×680
	春	870×680
	青ぞらのはてのはて	810×670
	わが雲に関心し	870×680
『黒井健Note Book 私のイーハトヴ』	表紙	570×420
1997年 宮沢賢治詩 偕成社	岩手山	520×420
	さっきは陽が	520×420
	悪意	520×420
	氷のかけらが	520×420
	午前の仕事の	520×420
第4章 かけがえのない風景 —ふるさと、街並み、家族		
『ふる里へ』	表紙	670×500
2006年 星野知子文 小学館	ひろーい田んぼで	670×520
	晴れた!	670×500
	男の子って	670×520
	一番好きな季節は秋です	670×500
	黄金のいなほが	670×520
	ポケットに手を入れ	670×500
	「雪はきれいで	670×520
『この街で』	この街で生まれこの街で育ち	

2006年 新井満文 PHP 研究所

わたしのすぐそばにいつも
この街でいつかおばあちゃんになりたい
いつまでも好きなあなたと

『SWEET TIMES す・て・き・な・ひ・と・と・き』

1992年 黒井健文 小学館

つくしつみ
花ふぶき
おむかえ
海
夕日
かけっこ
帰り道
落葉の道
小春日和
ゆうげ

エピソード1 心に映った風景

『ミシシッピ900マイル カヌーの旅』

1988年 黒井健文 ティモシー・J・ラニング文 偕成社

IN THE RAIN	970×500
AGAINST THE WIND	970×500
SUNSET	970×500
CAMPFIRE	970×500
DRYING PLACE	970×500
FROM THE HILL	970×500
CARM DAY	970×500
WHITE FACTORY	970×500

エピソード2 子どものまなざしで描く

『ころわんはおにいちゃん』

1896年 間所ひさこ作 ひさかたチャイルド

表紙	400×400
あるひ、ころわんは、	650×400
「みゆう、みゆう、みゆう。」	650×400
どっすん	650×400
「くふふ……、	400×400

『かぜのひのころわん』

1987年 間所ひさこ作 ひさかたチャイルド

かぜにふきとばされたおちばは、	650×400
ぐび、ぐび、わしはなあ、	650×400

『ころわんとしろいくも』

1988年 間所ひさこ作 ひさかたチャイルド

ころわんは、たったか、たったか、	650×400
「—あれえ？」	650×400

『つきのよるのものがたり』

2007年 かさいまり作 ひさかたチャイルド

「そうだ！」	650×400
--------	---------

『うみをわたったこぶた』

2004年 木崎さと子作 岩崎書店

ゆうごはんを	650×400
あれ、ちょうちよが！	670×520
さあ、こぶたは	670×520

エピソード3 お母さんから生まれた絵本

『およげラッコぼうや』

1993年 ナンシー・ホワイト・カールストローム作 偕成社

かあさんが「だめよ」	610×410
およいでおいで	610×410
ただいま	610×410
今日はたっぷり遊びます	610×410

『あのね、サンタの国ではね…』

1990年 松本智年・一色恭子作 嘉納純子文 偕成社

表紙	380×300
きたのはてのうつくしい	430×360
メリー・クリスマス！	700×300
(陽に向かって走るサンタ達)	700×300

那波多目功一 牡丹幻想

—花のいのちに魅せられて—

●会期 平成20年11月22日（土）～平成21年1月18日（日）

●主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館

後援：財団法人日本美術院

ひたちなか市

ひたちなか市教育委員会

協賛：株式会社伊勢基本社

●ポスター B2

●チラシ A4

●図録 280×225mm 130頁

編集：茨城県天心記念五浦美術館

発行：茨城県天心記念五浦美術館

●入場者数 23,804人

●観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円

小中生200(150)円

※（ ）内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画61点、スケッチ・小下絵等76点

●内容解説

昭和8年（1933）に茨城県ひたちなか市（旧那珂湊市）に生まれた那波多目功一は、高校2年生の時に再興第35回院展に初入選して以降、日展などにも入選を重ねて早くからその才能を開花させた。卒業後はサラリーマン、そして企業家の道を選ぶが、絵の制作はコンスタントに続け、40年頃からは再興院展を中心に出品、3度の日本美術院賞を受賞し、平成2年（1990）日本美術院同人となった。さらに12年には前年院展に出品した「富貴譜」で日本芸術院賞を受賞、14年日本芸術院会員となるなど、現代日本画壇において着実

な地歩を固めてきた。

那波多目は、牡丹をはじめとする四季折々の花々や風景を主な題材としている。対象と真摯に向き合い、その本質を捉えようとする厳しい態度から生み出されたそれらの作品は、写実を基礎としながらも、豊かな抒情性と香り高い幻想性をあわせ持っている。

本展覧会では、高校時代の院展、日展初入選作から現在までの日本画作品61点を中心に、小下絵やスケッチなどを多数展示し、那波多目功一の約60年にわたる画業を回顧した。日ごろ見落としがちな何気ない風景、重厚でひっそりとした夢幻的空間、大地に根を張って精いっぱいいのちを煌めかせる花々のしなやかで力強い生命感。写実と幻想を融合させた那波多目芸術の魅力を紹介した。

●担当 稲葉睦子（副主任学芸員）

●関連イベント

アーティストトーク

語り手 那波多目功一（日本画家）

聞き手 稲葉睦子（副主任学芸員）

日時 1月10日（土）午後1時30分～午後2時30分

会場 講堂

ギャラリートーク

解説者 那波多目功一（日本画家）

松尾敏男（日本画家）

日時 1月11日（日）午後1時30分～午後2時30分

会場 展示室A・B・C

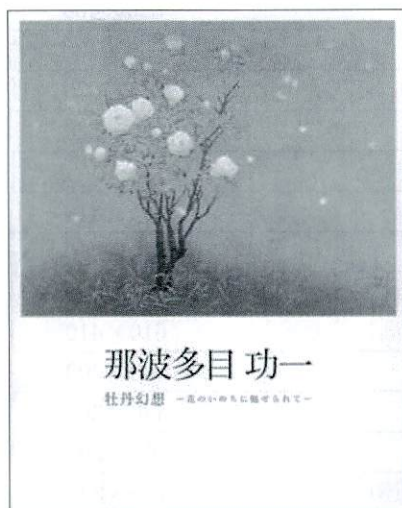
学芸員によるギャラリートーク

担当 稲葉睦子（当館副主任学芸員）

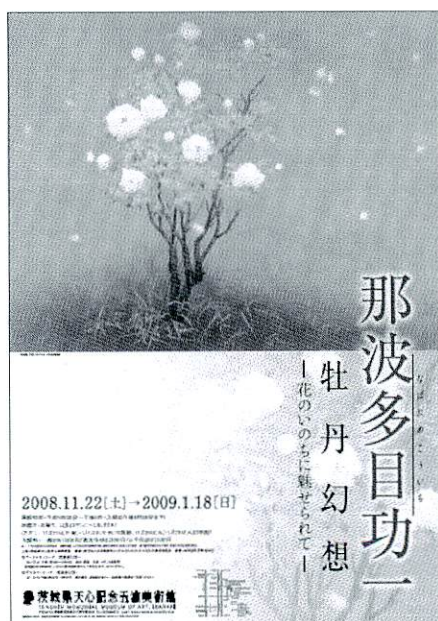
日時 12月6日（土）午後1時30分～午後2時30分

12月21日（日）午後1時30分～午後2時30分

会場 展示室A・B・C



図録



ポスター B2



チラシ A4

●新春イベント

新春コンサート 磯節の世界

出演 福田佑子（茨城県磯節保存会会長・弾き語り）
／初見宗郷（尺八）／小林久子（箏）／青本愛香（笛）

日時 1月10日（土） 午後3時～午後4時

会場 講堂

大根むき花実演

日時 1月3日（土） 午前10時～午後3時

1月4日（日） 午前10時～午後3時

会場 講座室

協力 大根むき花保存会（水戸市無形民俗文化財）

新春絵はがきプレゼント

日時 1月2日（日）・3日（日） 各日先着150名

●関連記事

- ・叙情と幻想を描く 那波多目功一さんの回顧展 牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～ 来月22日から 北茨城・県天心記念五浦美術館
平成20年10月22日（水）【毎日新聞】
- ・那波多目功一牡丹幻想～花のいのちに魅せられて
平成20年Vol180【よみうりタウンねっと】
- ・「那波多目功一牡丹幻想」展～花のいのちに魅せられて～
平成20年11月1日（土）【新美術新聞】
- ・花のいのちに魅せられて 22日から天心美術館 那波多目功一展開催
平成20年11月7日（金）【いわき民報】
- ・那波多目功一 日本画展「牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～」
平成20年11月13日（日）【福島民報タイム】
- ・那波多目功一展 茨城県天心記念五浦美術館
平成20年11月15日（土）【日々の新聞】
- ・北茨城 那波多目功一「牡丹幻想～花のいのちに魅せられて」
平成20年11月18日（火）【産経新聞】
- ・「那波多目功一牡丹幻想」展～花のいのちに魅せられて～
平成20年11月21日（金）【新美術新聞】
- ・県2美術館で展覧会 晩秋に文化の薫り
平成20年11月22日（土）【茨城新聞】
- ・天心記念五浦美術館（20人招待）日本画家・那波多目功一展
平成20年11月27日（木）【よみうりタウンニュース】
- ・那波多目功一 牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～
平成20年11月28日（金）【日本経済新聞】
- ・ひたちなか市出身の日本画家・那波多目功一展開催中
平成20年12月3日（水）【週刊茨城朝日】
- ・牡丹絵の名手 那波多目功一展 画業60年足跡回顧 県五浦美術館
平成20年12月3日（水）【茨城新聞】

- ・茨城県天心記念五浦美術館「那波多目功一 牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～」
平成20年12月4日（木）【まいいばらき】
- ・那波多目功一 牡丹幻想 60年にわたる画業を回顧
平成20年12月12日（金）【常陽ウィークリー】
- ・那波多目功一展 茨城県天心記念五浦美術館
平成20年12月15日（月）【両毛新聞】
- ・北茨城 那珂湊一高生が先輩の那波多目功一作品を鑑賞
平成20年12月17日（水）【週刊茨城朝日】
- ・「原点」示すまなざし 牡丹幻想 那波多目功一の世界 松山（稲葉睦子）
平成20年12月17日（水）【茨城新聞】
- ・「生と死」主題の変奏 牡丹幻想 那波多目功一の世界 けし（稲葉睦子）
平成20年12月22日（月）【茨城新聞】
- ・戦中の思い出を昇華 牡丹幻想 那波多目功一の世界 月輪（稲葉睦子）
平成20年12月24日（水）【茨城新聞】
- ・60年の画業と魅力を紹介 ひたちなか市出身・那波多目氏の県内初個展 県五浦美術館で1月18日まで
平成20年12月24日（水）【常陽新聞】
- ・「大根むき花」を実演 北茨城・県天心記念五浦美術館 水戸の伝統技術披露
平成21年1月5日（月）【常陽新聞】
- ・茨城県天心記念五浦美術館「那波多目功一 牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～」
平成21年1月8日（木）【まいいばらき】
- ・牡丹絵の名手、画業語る 県天心記念五浦美術館 対話形式、逸話も
平成21年1月12日（月）【茨城新聞】
- ・花と蝶による夢の世界 牡丹幻想 那波多目功一の世界 富貴譜（稲葉睦子）
平成21年1月14日（水）【茨城新聞】
- ・日々の努力物語る下絵（デスク日誌）
平成21年1月14日（水）【茨城新聞】
- ・那波多目功一 牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～
平成21年1月号【『月刊美術』】
- ・那波多目功一 牡丹幻想～花のいのちに魅せられて～
平成21年1月号【『月刊フーガ』】

●関連放送

- ・「みんなの教育」
平成20年11月22日（土）【茨城放送】
- ・「スクーパーレポート」
平成20年11月26日（水）【茨城放送】
- ・「レディス4」
平成20年12月5日（金）【テレビ東京】
- ・「いっしょ旅夢気分」
平成20年12月17日（水）【テレビ東京】

・「こんにちは いばらきわいわいスタジオ」
平成20年12月24日（水）【NHK】

・「おもしろ美術館」
平成20年12月5日（金）【FMいわき】

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	初出展覧会	所蔵
〈序章 画業の始まり〉					
1	松山	昭和25年(1950)	紙本・彩色・額装	再興第35回院展	個人蔵
2	秋影	昭和26年(1951)	紙本・彩色・額装	第7回日展	茨城県立那珂奏第一高等学校蔵
S-1	三反田付近(ひたちなか市) スケッチ	昭和25年(1950)	紙・色鉛筆		個人
S-2	磯貝原山並木(大洗町) スケッチ	昭和25年(1950)	紙・色鉛筆		個人
S-3	松山(再興第35回院展出品)のための習作	昭和25年頃 (c. 1950)	紙・彩色		個人
S-4	三反田付近(ひたちなか市) スケッチ	昭和26年頃 (c. 1951)	紙・色鉛筆		個人
S-5	皇居の松 スケッチ	昭和32年(1957)	紙・鉛筆		個人
S-6	夜の水面(皇居前の堀) スケッチ	昭和32年(1957)	紙・鉛筆		個人
S-7	夜の水面(皇居前の堀) スケッチ	昭和32年(1957)	紙・鉛筆		個人
S-8	皇居の松 スケッチ	昭和32年(1957)	紙・鉛筆		個人
S-9	皇居の松 スケッチ	昭和32年頃 (c. 1957)	紙・色鉛筆		個人
S-10	お濠の松(第1回日展出品)のための習作	昭和33年頃 (c. 1958)	紙・彩色		個人
S-11	彩秋(第3回日展出品作) 小下絵	昭和35年(1960)	紙・彩色		個人
S-12	朝顔 スケッチ	昭和36年(1961)	紙・彩色		個人
S-13	朝顔 スケッチ	昭和36年頃 (c. 1961)	紙・彩色		個人
S-14	庭(再興第51回院展出品) 小下絵	昭和41年頃 (c. 1908)	紙・彩色		個人
S-15	夜(再興第52回院展出品) 小下絵	昭和42年(1967)	紙・彩色		個人
〈第1章 模索の時 —西洋絵画への憧れ〉					
3	翔	昭和48年(1973)	紙本・彩色・額装	第28回春の院展	個人蔵
4	はぐくみ	昭和48年(1973)	紙本・彩色・額装	再興第58回院展	ひたちなか市蔵
5	岩礁	昭和49年(1974)	紙本・彩色・額装	再興第59回院展	ひたちなか市蔵
6	座す	昭和50年(1975)	紙本・彩色・額装	第30回春の院展	個人蔵
7	女	昭和50年(1975)	紙本・彩色・額装	再興第60回院展	ひたちなか市蔵
8	白陽	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	再興第61回院展	ひたちなか市蔵
9	想ひ	昭和52年(1977)	紙本・彩色・額装	再興第62回院展	ひたちなか市蔵
10	寂光	昭和53年(1978)	紙本・彩色・額装	再興第63回院展	ひたちなか市蔵
11	鹿	昭和53年頃 (c. 1978)	紙本・彩色・額装		ひたちなか市蔵
12	風化	昭和55年(1980)	紙本・彩色・額装	再興第65回院展	茨城県立那珂奏第一高等学校蔵
S-16	上高地 習作	昭和40年代前半 (c. 1965~70)	紙・色鉛筆		個人
S-17	習作	昭和40年代前半 (c. 1965~70)	紙・色鉛筆		個人
S-18	裸婦 習作	昭和40年代前半	紙・彩色		個人

(c. 1965~70)

S-19	野に横たわる裸婦 習作	昭和40年代前半 (c. 1965~70)	紙・色鉛筆 彩色		個人
S-20	裸婦 習作	昭和40年代後半 (c. 1970~75)	紙・彩色		個人
S-21	弟 習作	昭和40年代後半 (c. 1970~75)	紙・彩色		個人
S-22	樹 習作	昭和40年代後半 (c. 1970~75)	紙・彩色		個人
S-23	女 (再興第60回院展出品) 小下絵	昭和50年 (1975)	紙・彩色		個人
S-24	白陽 (再興第61回院展出品) 小下絵	昭和51年 (1976)	紙・彩色		個人
S-25	想ひ (再興第62回院展出品) 小下絵	昭和52年 (1977)	紙・彩色		個人
S-26	寂光 (再興第63回院展出品) 小下絵	昭和53年 (1978)	紙・彩色		個人
S-27	孔雀 (再興第64回院展出品) 小下絵	昭和54年 (1979)	紙・彩色		個人
S-28	花と孔雀 習作	昭和50年代前半 (c. 1975~80)	紙・彩色		個人
S-29	幻想的風景 習作	昭和50年代前半 (c. 1975~80)	紙・彩色		個人
S-30	馬 習作	昭和50年代前半 (c. 1975~80)	紙・彩色		個人
S-31	軍鶏 習作	昭和50年代前半 (c. 1975~80)	紙・彩色		個人

〈第2章 転機 ―自分らしさを求めて〉

13	けし	昭和56年 (1981)	紙本・彩色・額装	再興第66回院展	個人蔵
14	生々	昭和57年 (1982)	紙本・彩色・額装	再興第67回院展	佐久市立近代美術館蔵
15	廢園	昭和58年 (1983)	紙本・彩色・額装	再興第68回院展	茨城県近代美術館蔵
16	窓	昭和59年 (1984)	紙本・彩色・額装	第39回春の院展	ひたちなか市蔵
17	寒牡丹	昭和60年 (1985)	紙本・彩色・額装	再興第70回院展	ひたちなか市蔵
18	耀	昭和61年 (1986)	紙本・彩色・額装	再興第71回院展	個人蔵
19	せせらぎ	昭和62年 (1987)	紙本・彩色・額装	再興第72回院展	個人蔵
20	華宴	昭和63年 (1988)	紙本・彩色・額装	再興第73回院展	個人蔵
21	月輪	平成2年 (1990)	紙本・彩色・額装	再興第75回院展	個人蔵
S-32	ひまわり (山梨県西桂町小沼) スケッチ	昭和57年 (1982)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-33	ひまわり スケッチ	昭和57年 (1982)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-34	ひまわり 習作	昭和58年頃 (c. 1983)	紙・彩色		個人
S-35	爽 (第38回春の院展出品) 小下絵	昭和58年頃 (c. 1983)	紙・彩色		個人
S-36	花と蝶 (第8回山種美術館賞展出品) 小下絵	昭和60年 (1985)	紙・彩色		個人
S-37	小春日 (第40回春の院展出品) 小下絵	昭和60年 (1985)	紙・彩色		個人
S-38	華宴 (再興第73回院展出品) 小下絵	昭和63年 (1988)	紙・彩色		個人
S-39	清晨 (第44回春の院展出品) のための習作	平成元年 (1989)	紙・彩色		個人
S-40	泳 (第45回春の院展出品) 小下絵	平成2年 (1990)	紙・彩色		個人

〈第3章 さらなる挑戦 その1 光を描く〉

22	夕照	平成3年 (1991)	紙本・彩色・額装	再興第76回院展	株式会社常陽銀行蔵
23	春の耀り	平成4年 (1992)	紙本・彩色・額装		個人蔵

24	憩う	平成5年(1993)	紙本・彩色・額装	再興第78回院展	三の丸ホテル蔵
25	河原	平成5年(1993)	紙本・彩色・額装		個人蔵
26	さゞ波	平成6年(1994)	紙本・彩色・額装	再興第79回院展	郷さくら美術館蔵
27	潮騒	平成8年(1996)	紙本・彩色・額装	再興第81回院展	ひたちなか市蔵
28	富士	平成8年(1996)	紙本・彩色・額装		個人蔵
29	霧のカサレス(スペイン)	平成9年(1997)	紙本・彩色・額装	再興第82回院展	個人蔵
30	花かたみ	平成10年(1998)	紙本・彩色・額装	再興第83回院展	個人蔵
31	燦菊	平成11年(1999)	紙本・彩色・額装	第54回春の院展	個人蔵
32	はや瀬	平成15年(2003)	紙本・彩色・額装	再興第88回院展	式年遷宮記念神宮 美術館蔵
33	昇陽(ディアナ神殿)	平成18年(2006)	紙本・彩色・額装	再興第91回院展	個人蔵
34	朧	平成19年(2007)	紙本・彩色・額装	第62回春の院展	個人蔵
S-41	夕映え(第46回春の院展出品)	小下絵	平成3年(1991)	紙・彩色	個人
S-42	花かたみ(再興第83回院展出品)	小下絵	平成10年(1998)	紙・彩色	個人
〈第3章 さらなる挑戦 その2 花のいのちに魅せられて〉					
35	想春	平成6年(1994)	紙本・彩色・額装	第49回春の院展	個人蔵
36	寂	平成7年(1995)	紙本・彩色・額装	再興第80回院展	郷さくら美術館蔵
37	旭日	平成7年(1995)	紙本・金地彩色・ 屏風二曲一隻	那波多目功一日本画展 (三越)	個人蔵
38	涼花	平成7年(1995)	紙本・金地彩色・ 屏風二曲一隻	那波多目功一日本画展 (三越)	個人蔵
39	菊月	平成7年(1995)	紙本・金地彩色・ 屏風二曲一隻	那波多目功一日本画展 (三越)	個人蔵
40	寒牡丹	平成7年(1995)	紙本・金地彩色・ 屏風二曲一隻	那波多目功一日本画展 (三越)	個人蔵
41	春の雪	平成9年(1997)	紙本・彩色・額装	第52回春の院展	個人蔵
42	富貴譜	平成11年(1999)	紙本・彩色・額装	再興第84回院展	日本芸術院蔵
43	昇陽菊図	平成11年(1999)	紙本・金地彩色・ 屏風六曲一隻		郷さくら美術館蔵
44	夏の朝	平成12年(2000)	紙本・彩色・額装	第55回春の院展	個人蔵
45	年年歳歳	平成12年(2000)	紙本・彩色・額装	再興第85回院展	ひたちなか市蔵
46	咲き競う	平成12年(2000)	紙本・彩色・額装		個人蔵
47	雪中花	平成14年(2002)	紙本・彩色・額装	第57回春の院展	財団法人長谷川町 子美術館蔵
48	朝霧	平成14年(2002)	紙本・彩色・額装	再興第87回院展	高崎市タワー美術 館蔵
49	風花	平成15年(2003)	紙本・彩色・額装	第58回春の院展	個人蔵
50	雪舞	平成16年(2004)	紙本・彩色・額装	第59回春の院展	財団法人長谷川町 子美術館蔵
51	白耀	平成16年(2004)	紙本・彩色・額装	再興第89回院展	三木美術館蔵
52	爽涼の朝	平成17年(2005)	紙本・彩色・額装	第60回春の院展	個人蔵
53	初春	平成17年(2005)	紙本・彩色・額装	四季折々に一那波多目 功一 日本画展(三越)	財団法人長谷川町 子美術館蔵
54	五月の頃	平成17年(2005)	紙本・彩色・額装	四季折々に一那波多目 功一 日本画展(三越)	財団法人長谷川町 子美術館蔵
55	涼夏	平成17年(2005)	紙本・彩色・額装	四季折々に一那波多目 功一 日本画展(三越)	個人蔵
56	秋桜	平成17年(2005)	紙本・彩色・額装	四季折々に一那波多目	個人蔵

				功一 日本画展 (三越)	
57	香る秋	平成17年 (2005)	紙本・彩色・額装	四季折々にー那波多目 功一 日本画展 (三越)	個人蔵
58	石楠花	平成18年 (2006)	紙本・彩色・額装	第61回春の院展	個人蔵
59	惜春	平成19年 (2007)	紙本・彩色・額装	再興第92回院展	個人蔵
60	酔芙蓉	平成20年 (2008)	紙本・彩色・額装	第63回春の院展	個人蔵
S-43	富貴譜 (再興第84回院展出品) 小下絵	平成11年 (1999)	紙・彩色		個人
〈スケッチ〉					
S-44	牡丹 (町田ぼたん園) スケッチ	昭和57年 (1982)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-45	ギリシャ ミコノス島 スケッチ	昭和61年 (1986)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-46	中国 杭州 スケッチ	昭和62年 (1987)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-47	釜無川 (山梨県) スケッチ	昭和62年 (1987)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-48	富士 五合目 スケッチ	昭和62年 (1987)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-49	つゆ虫 スケッチ	昭和62年 (1987)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-50	スペイン トレド スケッチ	昭和63年 (1988)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-51	秋草 スケッチ	平成元年 (1989)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-52	スイス アイガー北壁 スケッチ	平成2年 (1990)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-53	寒牡丹 (奈良県、石光寺) スケッチ	平成2年 (1990)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-54	梅 (静岡県、清見寺) スケッチ	平成4年 (1992)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-55	イタリア アッジジ スケッチ	平成4年 (1992)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-56	秋草 (山梨県十谷温泉) スケッチ	平成4年 (1992)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-57	寒牡丹、椿 (奈良県、石光寺) スケッチ	平成5年 (1993)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-58	河原の石と草 (山形県蔵王) スケッチ	平成5年頃 (c. 1993)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-59	山桜 スケッチ	平成6年 (1994)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-60	河口湖 スケッチ	平成6年 (1994)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-61	奥入瀬 スケッチ	平成7年 (1995)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-62	スペイン グラナダ スケッチ	平成9年 (1997)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-63	桜の花びら (福島県須賀川市) スケッチ	平成10年 (1998)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-64	桃 スケッチ	平成10年 (1998)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-65	枝垂桜 (静岡県、法泉寺) スケッチ	平成12年 (2000)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-66	ベルギー ブルージュ スケッチ	平成13年 (2001)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-67	牡丹 スケッチ	平成14年 (2002)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人
S-68	イタリア シチリア島 シラクサーサ パレスホテル スケッチ	平成14年 (2002)	紙・鉛筆 色鉛筆	現代作家デッサンシリ ーズ 那波多目功一展	個人
S-69	紫陽花 スケッチ	平成15年 (2003)	紙・鉛筆 色鉛筆		個人

S-70	糸菊 スケッチ	平成15年(2003)	紙・鉛筆、色鉛筆		個人
S-71	寒牡丹(奈良県、石光寺) スケッチ	平成16年(2004)	紙・鉛筆、色鉛筆	現代作家デッサンシリーズ 那波多目功一展	個人
S-72	牡丹 スケッチ	平成16年(2004)	紙・鉛筆、色鉛筆		個人
S-73	石楠花(福島県須賀川市) スケッチ	平成17年(2005)	紙・鉛筆、色鉛筆		個人
S-74	花菖蒲 スケッチ	平成17年(2005)	紙・鉛筆、色鉛筆		個人
S-75	ベルギー ナミュール郊外 ゲンシル スケッチ	平成18年(2006)	紙・鉛筆、色鉛筆		個人
S-76	ベルギー ナミュール郊外 ゲンシル スケッチ	平成18年(2006)	紙・鉛筆、色鉛筆		個人
参考 出品	つるばら	平成5年(1993)	紙本・彩色・額装	第48回春の院展	個人蔵

再興第93回院展 茨城五浦展

- 会期 平成21年3月12日（木）～3月29日（日）
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
財団法人日本美術院
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 240×250mm 120頁
編集：財団法人日本美術院
発行：財団法人日本美術院
- 入場者数 10,717人
- 観覧料 一般500（400）円／高大生300（250）円
小中生200（150）円
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 出品点数 68点
- 内容解説

日本美術院は、明治31年、岡倉天心が中心となって、新しい時代の日本画を創出するために設立された美術団体である。その後一時経営難に陥った日本美術院が、明治39年、天心の命により、研究所を東京谷中から移し、さらなる研さんが積まれたのが茨城県の最北端にある景勝地五浦であった。天心没後の大正3（1914）年、天心の精神を受け継いだ横山大観、下村観山らによって再興された日本美術院は、それ以後も多くのすぐれた日本画家を輩出して今日にいたっている。

今回の再興第93回院展茨城五浦展では、郷倉和子、平山郁夫、松尾敏男ら名だたる巨匠をはじめとした同人の作品32点に加え、日本美術院賞、奨励賞、第14回

天心記念茨城賞の受賞者の作品、さらには茨城県に係る作家の作品等、併せて68点を紹介した。

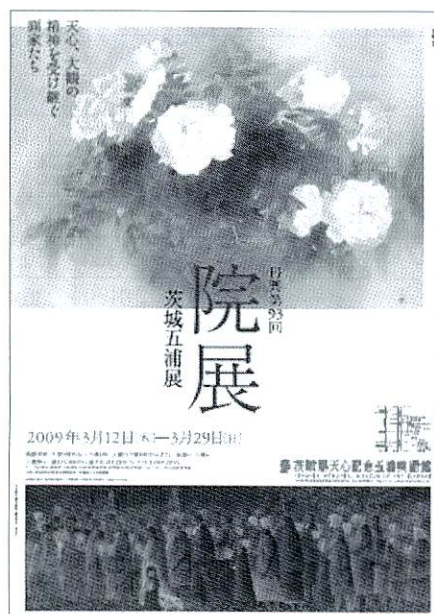
●担当 小泉淳一（首席学芸員）

●関連記事

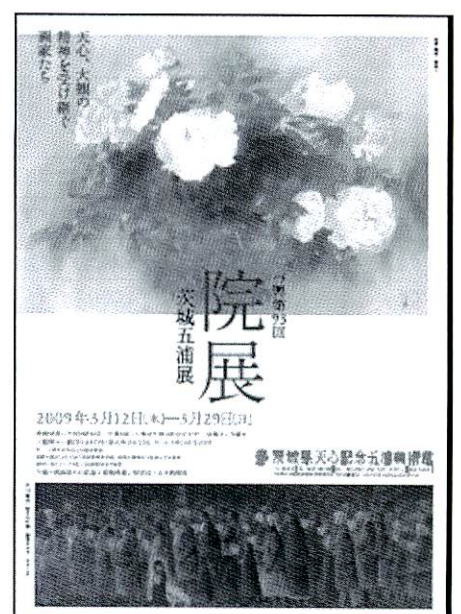
- ・再興第93回院展 茨城五浦展 ～天心、大観の精神を受け継ぐ画家たち～ 招待券ペア10組（20人）
平成21年2月12日（木）【福島民報タイム】
- ・企画展「再興第93回院展 茨城五浦展」
平成21年3月1日（日）【茨城新聞】
- ・院展 茨城五浦展 茨城県天心記念五浦美術館
平成21年3月3日（火）【両毛新聞】
- ・再興第93回院展 茨城五浦展～天心、大観の精神を受け継ぐ画家たち
平成21年3月4日（水）【週刊茨城朝日】
- ・“五浦の精神”受け継ぐ画家展
平成21年3月5日（木）【よみうりタウンニュース】
- ・初公開の68点、五浦展開催へ 12日から県天心記念美術館
平成21年3月10日（火）【朝日新聞】
- ・再興第93回 院展 茨城五浦展
平成21年3月13日（金）【日本経済新聞】
- ・華麗、迫力 日本画68点 天心記念五浦美術館で院展巡回展
平成21年3月13日（金）【茨城新聞】
- ・本県ゆかりの画家など全68点県内初公開 県天心記念五浦美術館「再興第93回院展」始まる
平成21年3月15日（日）【常陽新聞】
- ・院展 茨城五浦展
平成21年3月20日（金）【読売新聞】
- ・県ゆかりの画家作品68点 「再興院展」で初公開 29日まで 県天心記念五浦美術館
平成21年3月20日（金）【毎日新聞】



図録



ポスター B2



チラシ A4

●関連放送

- ・「ラジオ県だより」
平成21年3月6日(月), 14日(土), 20日(金)【茨城放送】
- ・「みんなの教育」
平成21年3月14日(土)【茨城放送】

・「スクーパーレポート」

平成21年3月11日(水)【茨城放送】

● 出品作品一覧

NO	作家名	生年	作品名	大きさ	材質・技法	備考	茨城県
1	同人 郷倉 和子	1914-	水辺の春光(三)	141.0×249.0	紙本・彩色		
2	同人 平山 郁夫	1930-	祈りの行進・聖地ルルド・フランス	194.4×569.5	紙本・彩色		
3	同人 松尾 敏男	1926-	彩雨	161.5×225.2	紙本・彩色		
4	同人 後藤 純男	1930-	盛秋遊行俯瞰図(春秋二題の内)	185.0×391.0	紙本・彩色		
5	同人 下田 義寛	1940-	風駆ける	187.9×326.0	紙本・彩色		
6	同人 小山 硬	1934-	追憶満州II 新京駅前広場	178.6×458.9	紙本・彩色		
7	同人 鎌倉 秀雄	1930-	お帰りなさい	180.9×244.7	紙本・彩色		
8	同人 福井 爽人	1937-	彩の刻	186.0×366.0	紙本・彩色		
9	同人 伊藤 彰耳	1938-	山のふもとに町が・湯河原	245.0×606.0	紙本・彩色		
10	同人 松本 哲男	1943-	文明アジア「仏跡」	186.5×366.0	紙本・彩色		
11	同人 田淵 俊夫	1941-	すすき	175.4×368.0	紙本・彩色		
12	同人 那波多目 功一	1933-	北城の春	187.0×293.0	紙本・彩色		出身
13	同人 手塚 雄二	1953-	朝霧	174.4×361.4	紙本・彩色		
14	同人 福王寺一彦	1955-	月光	250.0×250.0	紙本・彩色		
15	同人 梅原 幸雄	1950-	化生	200.0×380.0	紙本・彩色		
16	同人 清水 達三	1936-	百間山溪谷	200.0×358.5	紙本・彩色		
17	同人 宮・ 正明	1951-	話木	223.9×289.1	紙本・彩色		
18	同人 菊川 三織子	1944-	白い道	220.0×188.0	紙本・彩色		
19	同人 西田 俊英	1953-	晨・鶴	178.4×388.4	紙本・彩色		
20	同人 小谷津 雅美	1933-	花遊悠	176.0×244.0	紙本・彩色		
21	同人 松村 公嗣	1948-	桂林雨後	175.4×368.0	紙本・彩色		
22	同人 大矢 紀	1936-	浄	250.0×320.0	紙本・彩色	内閣総理大臣賞	
23	同人 高橋 秀年	1953-	源氏物語 螢	176.5×325.5	紙本・彩色		
24	同人 川瀬 鷹士	1941-	火山原	232.0×342.0	紙本・彩色		
25	同人 吉村 誠司	1960-	サーカス	200.9×220.9	紙本・彩色		
26	同人 大野 百樹	1920-	月	185.4×230.5	紙本・彩色	文部科学大臣賞	
27	同人 今井 珠泉	1930-	氷原にはばたく(流水)	177.0×368.0	紙本・彩色		
28	同人 倉島 重友	1944-	東風釣人	181.5×351.0	紙本・彩色		在住
29	同人 清水 由朗	1961-	望楼	175.4×368.0	紙本・彩色		
30	同人 齋藤 満栄	1948-	橋(カレル)	205.0×250.0	紙本・彩色		
31	同人 小田野 尚之	1960-	径	191.9×236.9	紙本・彩色		
32	同人 宮北 千織	1967-	願い	199.5×245.0	紙本・彩色		
33	院友 荒木みどりこ	1966-	ひぐらしの里	180.0×225.0	紙本・彩色	奨励賞	
34	院友 石村 雅幸	1965-	魂	225.0×180.0	紙本・彩色	奨励賞	在住
35	特待 井手 康人	1962-	奏楽来現	225.0×180.0	紙本・彩色	奨励賞	
36	院友 稲貝 頼子	1944-	帰郷	215.0×170.0	紙本・彩色		
37	院友 岩永 てるみ	1968-	Kew Gardens	223.0×178.0	紙本・彩色	奨励賞	
38	特待 大坪 由明	1947-	偏西風	225.0×180.0	紙本・彩色		在住
39	招待 大野 逸男	1941-	すすきの坂道	170.0×217.0	紙本・彩色		
40	特待 大矢 十四彦	1940-	冬晨	225.0×180.0	紙本・彩色	奨励賞	

41	特待	岡田 眞治	1962-	風の音	225.0×180.0	紙本・彩色		
42	院友	小田切 恵子	1953-	森の唄	210.0×180.0	紙本・彩色		出身
43	院友	鬼塚 堅太	1977-	最上蛇行	180.0×225.0	紙本・彩色		出身
44	院友	加藤 恵	1967-	瀬をはやみ	219.0×174.0	紙本・彩色		
45	院友	川瀬 伊人	1973-	愁思の沼	223.7×180.0	紙本・彩色	奨励賞 第14回天心記念 茨城賞	
46	特待	國司 華子	1960-	祈リノカタチ	180.0×225.0	紙本・彩色		在住
47	特待	西藤 哲夫	1952-	砂マンダラを描く	225.0×180.0	紙本・彩色	奨励賞	
48	特待	篠崎 美保子	1931-	追憶の庭	180.0×225.0	紙本・彩色	奨励賞	
49	特待	清水 操	1955-	海流の島	165.0×205.0	紙本・彩色		
50	院友	菅原 美恵子	1947-	硝子のシンフォニー	160.0×215.0	紙本・彩色		
51	院友	辻 紀子	1948-	樹根	180.0×210.0	紙本・彩色		在住
52	院友	仲 裕行	1960-	行日	225.0×180.0	紙本・彩色		在住
53	特待	中村 譲	1964-	海陸風	180.0×225.0	紙本・彩色	日本美術院賞	
54	院友	中本 智絵	1976-	ターミナル	170.0×220.0	紙本・彩色	奨励賞	
55	院友	西澤 秀行	1964-	まどべ	224.0×153.5	紙本・彩色		
56	特待	番場 三雄	1953-	凍てる日	180.0×225.0	紙本・彩色	奨励賞	無鑑査
57		福田 喜美子	1983-	静境	180.0×221.0	紙本・彩色		在住
58	院友	前田 力	1971-	僕らの場所	180.0×225.0	紙本・彩色	奨励賞	
59	招待	前原 満夫	1944-	土	222.0×177.0	紙本・彩色		
60	特待	松本 高明	1945-	春立つ	179.5×224.5	紙本・彩色	奨励賞	
61	研究会員	水見 剛	1969-	薄暮	178.0×223.0	紙本・彩色		在住
62	特待	村岡 貴美男	1966-	ねむり	223.0×178.0	紙本・彩色	奨励賞	無鑑査
63	院友	守 みどり	1968-	うつつ	225.0×180.0	紙本・彩色		在住
64	特待	谷中 武彦	1943-	風の道	225.0×180.0	紙本・彩色		出身
65	特待	山本 真也	1946-	道化師の恋	170.0×215.0	紙本・彩色	無鑑査	在住
66	院友	山本 浩之	1970-	ゆらぐ	225.0×180.0	紙本・彩色	奨励賞	在住
67	院友	劉 辻杲	1966-	晨鐘	225.0×180.0	紙本・彩色		
68	院友	王 培	1976-	排排座	179.0×215.0	紙本・彩色		

2 所蔵品展

●概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選り出し、展示室Aで年4回の展示をした。

●主催 茨城県天心記念五浦美術館

●会期及びテーマ

No	会期	テーマ
	2/16 (土) - 4/13 (日)	ザ・屏風絵展
1	5/30 (金) - 7/13 (日)	田園交響詩—芋銭・巢居人を中心に
2	9/5 (金) - 10/5 (日)	日本画に描かれた花—木村武山の杉戸絵を中心に
3	10/9 (木) - 11/16 (日)	茨城の日本画家たち
4	H21/1/24 (土) - 3/8 (日)	東京美術学校に学んだ日本画家たち

●観覧料 一般 180(140)円／高大生 110(80)円／小中生 80(50)円

※ () 内は20名以上の団体料金

※満70歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方は無料

※土曜日は高校生以下無料

●入館者数 72,238人

●所蔵品展チラシ



第1回所蔵品展 田園交響詩—芋銭・巢居人を中心に 平成20年5月30日(金)～7月13日(日)

本県ゆかりの日本画家小川芋銭(1868～1938)と芋銭に感化を受けた小林巢居人(1897～1978)は、田園の風景や大地に生息する生き物たち、そこに暮らす人々の生活を詩情豊かに描いている。そこでは、牛久や石岡を中心とする県南部の豊かな自然が原風景となっており、自然や農民達への限りない愛情が注がれている。

本展では、芋銭や巢居人の日本画を中心に、中西利雄、小堀進らの水彩画など、田園風景を描いた作品あわせて22点を展示し、その魅力を紹介した。

●出品目録

No.	作者名(生年順)	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
<日本画>							
1	小川 芋銭	1868-1938	若葉と水蒸気	昭和7年頃	絹本・淡彩・軸装	40.0×51.5	
2			水国十二橋	昭和8年頃	紙本・淡彩・軸装	46.0×53.4	
3			園林三月	昭和10年	紙本・淡彩・軸装	45.2×53.5	

4			緑雨	昭和11年	絹本・淡彩・軸装	142.0×42.6	
5			春野	昭和11年頃	紙本・淡彩・軸装	44.0×49.0	
6			馬肥	昭和11年頃	紙本・淡彩・軸装	45.0×53.3	
7			潮来	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	44.7×53.5	
8			湖上迷樹	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	85.0×120.0	
9			涼気流	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	45.8×65.3	
10			早夏人馬之野	昭和12年頃	紙本・淡彩・軸装	44.2×59.0	
11	小林 巢居人 1897-1978		田園の四季	大正12年	紙本・淡彩・卷子	22.0×486.0(春) 22.0×461.0(夏) 22.0×465.0(秋) 22.0×519.0(冬)	小林登氏寄贈
12			土機光象	昭和18年	紙本・淡彩・卷子	55.0×1660.2(上巻) 55.0×1662.1(下巻)	山崎敬子氏寄贈
13			よだかの星	昭和26年	紙本・彩色・屏風二曲一双	各172.0×255.0	
14			水辺画卷	昭和29年	絹本・彩色・額装	56.0×1750.0	
15			氷とける	昭和46年	紙本・彩色・額装	151.5×106.0	小林恒吉氏寄贈
16	時田 直善 1907-2000		早苗船	昭和23年	紙本・彩色・屏風二曲一双	各180.4×185.5	時田幸彦氏寄贈
17	浦田 正夫 1910-1997		沼	昭和57年	紙本・彩色・額装	174.0×186.0	作者寄贈
18	西村 昭二郎 1972-1999		夕風・夏柳	昭和52,53年	紙本・彩色・屏風四曲一双	各167.0×227.0	西村淑子氏寄贈
<水彩画>							
19	中西 利雄 1900-1948		風景	昭和18年	水彩・紙	36.0×52.0	中西富江氏寄贈
20	春日部 たすく 1903-1985		盆地(冬)	昭和35年	水彩・紙	73.0×117.0	
21	互井 開一 1904-1967		夏の石狩平野	昭和41年	水彩・布	54.0×73.0	互井卓郎氏寄贈
22	小堀 進 1904-1975		冠水の跡	昭和16年	水彩・紙	69.5×95.3	小堀昭氏寄贈

第2回所蔵品展 日本画に描かれた花—木村武山の杉戸絵を中心に 平成20年9月5日(金)~10月5日(日)

日本人は四季の変化とともに移ろう自然を愛でると同時に、それぞれの季節を象徴する花に対する繊細で鋭敏な感性をつちかってきました。花は生活を豊かに彩ってくれる存在として人々に親しまれてきただけでなく、絵画の世界でもしばしば取り上げられ、多くの画家によって描かれてきた。東洋には花鳥画の長い伝統が在るが、近代以降、花の表現は伝統を超えたさまざまな模索のもとで多彩な広がりを見せている。

本展では、茨城県出身の実業家内田信也の兵庫県神戸市の邸宅を飾った木村武山の「須磨御殿彩色杉戸絵」を中心に、花をモチーフとした日本画作品を紹介した。

●出品目録

No.	作者名(生年順)	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(洋花)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各198.5×148.5	寄託
2			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(洋花,百合)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各198.5×148.5	寄託
3			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(洋花,しょうぶ)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各198.5×148.5	寄託
4-1			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(表:ひまわり)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各199.0×148.0	寄託
4-2			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(表:すすき,もみじ等)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各199.0×148.0	寄託
5-1			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(表:白菊,赤菊,すすき,笹等)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各199.0×148.0	寄託
5-2			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」(表:白菊)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各199.0×148.0	寄託

6			須磨御殿彩色杉戸絵「紅梅図」	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各 199.0×100.0	寄託
7			須磨御殿彩色杉戸絵「四季草花図」 (洋花, みかん)	大正7年頃	杉戸二面・彩色	各 199.0×100.0	寄託
8	門井 掬水	1886-1976	夕浜	昭和15年	紙本・彩色・額装	185.0×226.0	
9	永田 春水	1889-1970	春光熙々	大正15年	紙本・彩色・額装	239.0×140.0	
10	速水 御舟	1894-1935	燕子花	大正12年	紙本・彩色・額装	31.0×51.0	
11			木蓮	大正15年	紙本・彩色・額装	31.0×63.5	
12			紅梅	昭和7年	紙本・彩色・額装	29.7×42.0	
13			白躑躅	昭和7年	紙本・彩色・額装	27.0×32.5	
14			木瓜	昭和7年	紙本・彩色・額装	32.0×62.0	
15			桔梗	昭和8年	紙本・彩色・額装	36.2×22.8	
16			紅梅	昭和8年	紙本・彩色・額装	22.7×18.0	
17			淡紅梅	昭和8年	紙本・彩色・額装	22.6×35.5	
18			椿	昭和8年	紙本・彩色・額装	29.6×21.0	
19			朝顔	昭和9年	紙本・彩色・額装	33.0×66.0	
20			桜	昭和9年	紙本・彩色・額装	29.5×30.0	
21			黄蜀葵	昭和9年	紙本・彩色・額装	42.0×30.0	
22	徳岡 神泉	1896-1972	菊花	昭和44年	紙本・彩色・額装	50.0×39.5	
23	羽石 光志	1903-1988	花菖蒲	昭和35年	紙本・彩色・額装	76.0×55.0	
24	加倉井 和夫	1919-1995	立琴	昭和57年	紙本・彩色・額装	218.5×119.0	寄託
25			寛	不詳	紙本・彩色・額装	72.3×72.8	寄託
26	小谷津 雅美	1933-	終宴	平成10年	紙本・彩色・額装	218.5×173.5	第4回天心記念茨城賞
27	菊川 三織子	1944-	花影	平成7年	紙本・彩色・額装	210.0×168.0	第1回天心記念茨城賞
28	齋藤 満栄	1948-	秋晨	平成12年	紙本・彩色・額装	170.0×215.0	第6回天心記念茨城賞

第3回所蔵品展 茨城の日本画家たち 平成20年10月9日(木)～11月16日(日)

晩年の岡倉天心は、日本美術院第一部(絵画)を茨城県北部の五浦の地へ移転させ、横山大観をはじめ、下村観山、菱田春草、木村武山らは新しい日本画の創造に励んだ。一方、小川芋銭や小林巢居人らは、県南部の水郷地方の豊かな風土の中で、自然や農村の人々の暮らしを温かなまなざしで描いてきた。また、戦後の日展で活躍した浦田正夫や加倉井和夫をはじめ、現在、再興院展を中心に活躍する那波多目功一など、茨城とかかわりのある日本画家達が数多くいる。

本展では、明治から平成にいたる茨城にゆかりのある画家達の日本画 25 点を展示し、本県における近・現代の日本画の流れを紹介した。

●出品目録

No.	作者名(生年順)	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	奥原 晴湖	1837-1913	枯木寒鴉	明治43年	絹本・淡彩・軸装	123.7×40.9	
2	松本 楓湖	1840-1923	養老の滝	大正初期	絹本・彩色・軸装	111.5×40.3	大澤弥太郎氏寄贈
3	小川 芋銭	1868-1938	浮動する山岳	昭和3年	絹本・墨画・軸装	94.8×121.0	寄託
4	小川 芋銭		畑のお化け	昭和4年	絹本・彩色・軸装	42.2×57.5	寄託
5	横山 大観	1868-1938	飛泉	明治35年	絹本・彩色・軸装(7と対幅)	125.3×41.2	
6	下村 観山	1873-1930	老松	大正5年頃	紙本・彩色・屏風六曲一双	各 168.0×370.2	
7	菱田 春草	1874-1911	秋溪	明治35年	絹本・彩色・軸装(5と対幅)	125.5×41.3	
8	木村 武山	1876-1942	弁財天	大正15年	絹本・彩色・軸装	181.1×85.0	
9	五島 耕畝	1882-1958	秋色双禽図	昭和初期	絹本・彩色・軸装	128.6×41.6	山口富美氏寄贈
10	門井 掬水	1886-1976	念仏講	不詳	絹本・彩色・軸装	214.0×171.0	
11	永田 春水	1889-1970	青げら	昭和38年	絹本・彩色・額装	66.0×70.0	
12	鴨下 晁湖	1890-1967	祖先と俱に在り	昭和13年	絹本・彩色・額装	163.5×168.0	
13	酒井 三良	1897-1969	汀	昭和36年	紙本・彩色・額装	103.0×133.0	
14	小林 巢居人	1897-1978	明るい夜	昭和46年	紙本・彩色・額装	116.8×80.5	

15	羽石 光志	1903-1988	宇治川	昭和39年	紙本・彩色・額装	200.2×242.4	寄託
16	鈴木 草牛	1905-1989	阿蘇	昭和48年	紙本・墨画・額装	120.0×177.0	渡辺功太郎氏寄贈
17	那波多目 煌星	1905-1989	化身	昭和50年	紙本・彩色・額装	222.0×162.0	作者寄贈
18	田中 嘉三	1909-1967	仏弟子	昭和38年	紙本・彩色・額装	180.0×226.0	
19	浦田 正夫	1910-1997	砂丘	昭和46年	紙本・彩色・額装	175.0×169.0	作者寄贈
20	加倉井 和夫	1919-1995	篁	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168.0	寄託
21	根本 正	1923-1980	神話	昭和52年	紙本・彩色・額装	160.8×112.0	根本まつえ氏寄贈
22	小林 恒岳	1932-	越寒	昭和58年	紙本・彩色・額装	162.1×130.3	寄託
23	那波多目 功一	1933-	酔芙蓉	平成20年	紙本・彩色・額装	90.6×116.0	個人増
24	倉島 重友	1944-	川風	平成13年	紙本・彩色・額装	213.0×168.0	第7回天心記念茨城賞
25	國司 華子	1960-	忘れ物ノ行方	平成17年	紙本・彩色・額装	225.0×180.0	第11回天心記念茨城賞

第4回所蔵品展 東京美術学校に学んだ日本画家達 平成21年1月24日(土)～3月8日(日)

東京美術学校(昭和24年に東京藝術大学となる)は、絵画、彫刻、工芸などに関する技術者の養成と学校の図画教員養成を目的として、明治22年(1889)、岡倉天心らの尽力により開校した国立の美術学校である。開講当初は、天心らの提唱した方針により日本の伝統美術が重んじられ、絵画科では、明治29年に西洋絵画科が設置されるまで日本画のみを教えていた。

今回の展覧会では、明治から昭和初期にかけて東京美術学校に学んだ横山大観、下村観山、東山魁夷、杉山寧らの日本画作品を中心に、彼らが同校在学時に授業や試験で制作した課題画もあわせて28点を紹介した。

●出品目録

No.	作者名(生年順)	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	横山 大観	1868-1958	鹿島神宮・筑波山	昭和3年	絹本・淡彩・軸装(対幅)	各149.0×57.0	
2	下村 観山	1873-1930	雨中鷺	明治41年頃	紙本・墨画・軸装	70.0×121.3	
3	菱田 春草	1874-1911	五浦ノ月	明治42～43年	絹本・彩色・軸装	113.6×20.7	
4	木村 武山	1876-1942	烏骨鶏	昭和8年	絹本・彩色・屏風二曲一隻	170.0×170.0	
5	平福 百穂	1877-1933	早梅	昭和2～3年頃	絹本・彩色・軸装	138.6×41.8	
6	森田 恒友	1881-1933	帰路	大正15年頃	紙本・墨画淡彩・軸装	134.0×32.0	岡野美彦氏寄贈
7	近藤 浩一路	1884-1962	房州天津	大正7年	紙本・墨画・卷子	16.5×539.0	
8	山村 耕花	1885-1942	寒山・拾得	大正6年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各133.0×49.0	
9	中村 岳陵	1890-1969	飛雪	昭和期	絹本・彩色・額装	58.0×70.9	寄託
10	東山 魁夷	1908-1999	潮音	昭和44年	紙本・彩色・額装	53.7×72.7	寄託
11	杉山 寧	1909-1993	瀨	昭和40年代	紙本・彩色・額装	72.5×54.5	寄託
12	浦田 正夫	1910-1997	日午	平成4年	紙本・彩色・額装	188.0×142.0	作者寄贈
13	加倉井 和夫	1919-1995	厨	昭和36年	紙本・彩色・額装	47.8×62.6	寄託
14	佐藤 多持	1919-2004	水芭蕉曼陀羅白・103	昭和44年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	163.0×183.0	佐藤美喜子氏寄贈
15	川崎 春彦	1929-	襲	平成10年	紙本・彩色・額装	172.0×215.0	作者寄贈
<東京美術学校課題画>							
16	横山 秀麿(大観)	1868-1958	写生(蓮根・くわい)	明治22年	紙本・墨画・額装	27.2×38.2	
17	横山 秀麿(大観)		写生(風呂敷包み)	明治22～23年	紙本・墨画・額装	38.9×27.3	
18	西郷 規(弧月)	1873-1912	写生(兔)	明治23～27年	紙本・彩色・額装	62.0×47.0	
19	西郷 規(弧月)		新案(虎)	明治29～31年頃	紙本・彩色・額装	60.0×82.3	
20	下村 晴三郎(観山)	1873-1930	写生(蓮根・くわい)	明治22年	紙本・墨画・額装	24.3×55.0	
21	下村 晴三郎(観山)		写生(燕)	明治22～23年	紙本・墨画・額装	24.0×32.0	
22	下村 晴三郎(観山)		写生(羽箒)	明治22～23年	紙本・墨画・額装	24.1×64.1	
23	下村 晴三郎(観山)		写生(風呂敷包み)	明治22～23年	紙本・墨画・額装	24.2×33.5	
24	筆谷 儀三郎(等観)	1875-1950	臨画(出山釈迦、梁楷)	明治28年頃	紙本・墨画・額装	63.0×46.0	
25	木村 信太郎(武山)	1876-1942	写生(笹)	明治25年	紙本・墨画・額装	26.5×36.5	寄託
26	松岡 輝夫(映丘)	1881-1938	地方入試成績品	明治33年	紙本・墨画・額装	36.8×55.4	
27	森田 恒友	1881-1933	石膏デッサン	明治35年頃	紙・木炭・額装	63.3×47.8	
28	近藤 浩(浩一路)	1884-1962	新案	明治37年	紙本・墨画・額装	34.5×46.0	

3 岡倉天心記念室

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示をした。

●会期及び出品目録

第1回 平成20年5月1日(金)～7月6日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	横山大観	海嶽	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	117.0×50.0	
2	下村観山	高土観瀑	大正8年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142.2×55.3	
3	菱田春草	春の漁	明治42年頃	絹本・淡彩・軸装	129.0×51.0	寄託
4	木村武山	不動明王(模写)	昭和2年頃	紙本・彩色・軸装	134.2×74.1	寄託

第2回 平成20年7月8日(火)～9月3日(水)

特別展示 旧 サースビー・コレクション(天心の作品)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	岡倉天心	海辺の松	明治37年	絹本・彩色・額装	49.4×87.9	寄託
2	岡倉天心	ロバと人物	明治37年	絹本・彩色・額装	49.0×86.3	寄託
3	岡倉天心	山水の図	明治37年	絹本・墨画・額装	80.7×27.4	寄託
4	岡倉天心	竹の図	明治37年	絹本・彩色・額装	91.6×24.0	寄託
5	岡倉天心	日の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	63.3×46.7	寄託
6	岡倉天心	月(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	48.5×35.8	寄託
7	岡倉天心	玉・	不詳	紙本・墨画・額装	25.0×35.0	寄託

第3回 平成20年9月4日(木)～10月28日(火)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	横山大観	秋の夕	明治35年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各121.7×50.5	
2	横山大観	月満山	昭和12年	紙本・墨画・軸装	65.0×99.0	
3	菱田春草	春の朝	明治35年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各122.0×50.8	
4	木村武山	孔雀王(下図)	明治43年	絹本・彩色・軸装	172.6×94.0	寄託
5	木村武山	七草	大正8年頃	絹本・彩色・軸装	142.0×50.0	

第4回 平成20年10月29日(水)～12月28日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	横山大観	赤壁	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	123.5×48.2	
2	横山大観	峠の夕	明治36年	絹本・彩色・軸装	40.5×65.5	
3	横山大観	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×51.0	
4	菱田春草	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.8	
5	木村武山	黒猫	大正7年頃	絹本・彩色・軸装	127.2×41.5	大塚子之吉氏寄贈

第5回 平成21年1月2日(金)～2月22日(日)

特別展示 旧サースビー・コレクション◇滞米・滞欧作品(大観、観山の作品)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	横山大観	岩礁の鶉	明治37～38年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	寄託
2	横山大観	松月雪景	明治37～38年	絹本・彩色・額装	87.5×50.0	寄託
3	横山大観	風雪に鷺	明治37～38年	絹本・墨画彩色・額装	87.1×49.8	寄託
4	横山大観	雪影	明治37～38年	絹本・彩色・額装	77.1×53.8	寄託
5	横山大観	雪景の図	明治37年頃	絹本・彩色・額装	53.0×50.5	寄託

6	下村観山	帰獵の図	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託
第6回 平成21年2月24日(火)～3月31日(火)						
No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	横山大観	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50.4	寄託
2	横山大観	葉桜	明治末期	絹本・彩色・軸装	117.0×42.0	
3	下村観山	日の出・雪梅	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各108.5×41.0	
4	菱田春草	普賢菩薩	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	
5	木村武山	義家勿来関	明治40～41年頃	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7	寄託

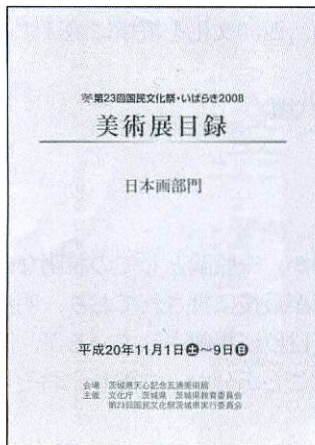
(2) 資料テーマ展示

- テーマ名** 新発見！大橋雅彦(郁太郎)関係天心資料
- 期間** 平成20年4月18日～10月1日(水)
- 内容** 東京美術学校の第二期生であり、岡倉天心の書生であった大橋雅彦(通称、郁太郎)のもとに残されていた天心に関わる貴重な資料が遺族からの情報により判明し、平成19年度当館の所蔵となった。
天心自筆の書簡や、五浦で開催した「仲秋観月園遊会」の正式な招待状などを含む同資料の中にはまた、これまで全く確認されたことのない天心の評論文の「草稿」が含まれていた。この「草稿」は、パリのルーヴル美術館で見たレオナルド・ダ・ヴィンチのモナ・リザについての感想や、ベルリンで聞いたバッハやベートーヴェンの音楽のこと、さらにはゲーテやユゴーの文学などにもふれながら、西洋文化を縦横に論評する内容のもので、天心研究に新たな一面を開く画期的な資料といえるものである。
- 展示資料** 岡倉天心筆 草稿(ヨーロッパの芸術と宗教についての内容) 明治30年代頃
- テーマ名** 天心筆『靈照女の事』をめぐって
- 期間** 平成20年10月2日(木)～平成21年3月31日(火)
- 内容** 天心による「靈照女」についての解説文。具体的な絵画作品の解説なのか、一般論としての説明なのかは不明である。晩年になって、ときどき用いた「碧龕(へきがん)」という印章が最後に押されており、明治45年頃以降の執筆と推測される。この資料は、『天心全集 第8巻』(1980年、平凡社)に掲載されているが、同書編集時には資料自体が行方不明で、斎藤隆三によるメモ書きにより収録されたことが分かっており、おそらく公開されるのは今回が初めてのことである。
- 展示資料** 岡倉天心筆 「靈照女の事」 紙・墨・卷子 明治45年(1912)頃

4 第23回国民文化祭いばらき2008 美術展(日本画)

- 会期** 平成20年11月1日(土)～11月9日(日)
- 主催等** 主催 文化庁
茨城県 茨城県教育委員会
第23回国民文化祭茨城県実行委員会
- ポスター** B2
- チラシ** A4
- 目録** 210×297mm A3 2ツ折り
- 入場者数** 5,888人
- 観覧料** 無料
- 出品点数** 90点(応募総数:200点)
- 関連事業**
ワークショップ 「びっくりしかけ絵本を作ろう」
講師: 嵐田康平(しかけえほん専門店「メッゲンドルファー」店主)
平成20年8月17日(日)
講座室

- 実技講座 日本画体験実技講座「果物を描こうー金泥を使ってー」
 講師：小林恒岳（新興美術院常任理事・日本画家）
 斎藤彰男（日本美術院院友・日本画家）
 平成20年11月5日（水）～6日（木）
 講座室
 24人
- 絵本おはなし会 平成20年 7月27日（日） おはなし会ぼっぽ 134人
 8月3日（日） 常陸太田図書館友の会 179人
 8月10日（日） 読みきかせグループ「たんぽぽ」 106人
 8月17日（日） 高萩読みきかせグループ 126人
- 体験コーナー 美術情報ライブラリー
 「ぬりぬりぬり絵。ぱたぱた絵本。」
 平成20年7月19日（土）～8月31日（日）
 講座室
 4,133人
- 黒井健絵本コーナー 平成20年7月19日（土）～8月31日（日）
 美術情報ライブラリー



目録



チラシ



イベントチラシ

5 ギャラリー展

創作活動の場を提供し地域文化の振興に寄与する目的から、企画展を開催していない時期に、作家や美術グループ等の希望に応じて展示室B・C（2室）を有料で貸し出している。13回のギャラリー展を開催した。

会期	展覧会名	展示内容	観覧人数
20. 4. 9～ 4. 13	第6回アート季光展	北茨城市を中心に活動する彫刻、写真、絵画、キルト等の作家によるグループ展。	2,002
6. 1～ 6. 8	第3回書法探究展－古典に挑む	漢字の大作を中心とする書作品の他、古典の名拓や名筆の復刻本を展示。	2,975
6. 11～ 6. 22	木村進油絵展	新槐樹社展出品作を中心に、炭坑や小樽の風景などを描いた油彩画を展示。	4,342
6. 25～ 7. 6	日仏交流 150 周年記念展 SNBA とアール・エボック 2008 年展	フランスの「ソシエテ・ナショナル・デ・ボザール（SNBA）」と、日本の作家集団との美術交流展。日仏の作家の油彩画を中心に、日本画、彫刻、工芸等を展示。	4,072
7. 9～ 7. 13	写真集団 ZERO 作品展	写真家上遠野氏が講師を務める写真教室のグループ展。	1,980
9. 10～ 9. 15	北茨城市幼稚園絵画展	北茨城市内の幼稚園に在籍する5歳児の絵画作品を展示。	2,797
9. 17～ 9. 21	引地恵美子の夕映え展	20年来集めた古布を使用し、裂織やパッチワークの技術により制作したキルト作品、タペストリー等を展示。	3,104
9. 24～ 9. 28	新構造茨城作家展'08	新構造本部80周年記念展に出品した作品及び新作を発表。油彩画42点の他、石彫、陶芸作品等も展示。	2,219
10. 1～10. 5	第4回双風展－絵画表現の行方－	自由な発想と新たな展開活動を試みようとする意欲的に取り組む10名の作家が絵画表現のあり方について追求し模索する作品（油彩画）を展示。	2,130
10. 10～10. 15	陶あかり展 “小宇宙への誘い” II	北茨城産のガイロ目粘土をはじめ、様々な素材による陶あかりにより、幻想的な世界を創出。日本の漁港や外国の風景を描いた油彩画も展示。	2,293
21. 1. 27～ 2. 8	県北地区高等学校合同美術展	常磐線沿線に位置する県北地区の高等学校11校と養護学校2校の美術部生徒による合同作品展。油彩画、デザイン、彫刻、立体造形など約120点を展示。	4,854
2. 11～ 2. 22	北茨城市小中学校美術展覧会	北茨城市内小中学校の児童生徒の作品展。絵画をはじめ書写や立体造形作品など約750点を展示。	7,456
2. 25～ 3. 6	清水優展	日展、光風展出品作品を中心に日本の漁港や海外の風景を描いた油彩画約20点を展示。	3,513
合計			43,737